

## 「津波に強いまちづくりの検討に係る手引き」を策定

南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念されるなか、UR都市機構は、津波被害が想定される地方公共団体への支援強化を図るため、「津波に強いまちづくりの検討に係る手引き」を策定しました。

本手引きは、緊急避難施設や災害応急対策活動拠点など主にハード対策を中心にまとめており、地方公共団体による津波防災まちづくりに関する対策の検討などに活用していただくことを目的と

しています。

手引きをご覧になった地方公共団体の皆さまからは、「分かりやすい」「東日本大震災の復興の現状と併せて説明してほしい」といったお声をいただいています。UR都市機構では、引き続き地方公共団体へ本手引きのご紹介や、東日本大震災の復興支援を含むUR都市機構の防災まちづくりに関する取り組みなどについて、ご案内をさせていただきます。

本手引きの内容や津波に強いまちづ

くりの検討に関するご相談などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。



地方公共団体の依頼により復興の視察、手引きの説明を実施(写真は宮城県気仙沼市内)



UR都市機構 都市再生部 全国まちづくり支援室地方都市戦略チーム  
Tel:045-650-0877

<http://www.ur-net.go.jp/produce/tsunami-bosai/>

## おおつち おがくち 大槌町大ケ口地区災害公営住宅が 地域住宅計画賞(作品部門)を受賞



受賞した大ケ口地区災害公営住宅

UR都市機構が岩手県大槌町から要請を受けて建設した大ケ口地区災害公営住宅が大槌町とともに、第8回「地域住宅計画賞(作品部門)」(主催:地域住宅計画推進協議会)を受賞しました。

この賞は、地域の環境や文化などを大切にしながら、地域自らの創意と工夫による、他の模範となるような住まいづくり・まちづくりを行った住宅や活動に贈られるものです。

スピードが求められる災害公営住宅の建設ですが、当住宅では限られた時間と予算の中でも、周辺のまち並みになじむ低層の木造和風住宅とし、木材の約6割は大槌町産のものを使用しています。また、地域住民の交流の場として広場や集会所も設けました。

今後も当地区の住宅づくりのように、地元へ貢献できる復興支援に努めてまいります。

### 「UR PRESS」Web版もお楽しみください!



内容充実の「UR PRESS」Webサイト。特集の巻頭インタビューや記事のオリジナル動画なども掲載しています。ぜひサイトもご覧ください。

UR PRESS

検索



<http://www.ur-net.go.jp/publication/web-urpress/>

### URのツイッター

UR都市機構のツイッターでは、イベント、キャンペーン、募集情報などをタイムリーに発信しています。ぜひアクセスしてみてください。

[http://twitter.com/UR\\_TOSHIKIKOU](http://twitter.com/UR_TOSHIKIKOU)



### 編集後記

普段からのコミュニケーションこそ、最大の防災になり得る。今回の取材で学んだことです。大島六丁目団地自治会の齊藤康則副会長は、「防災コミュニケーション」という言葉でそれを表現されていました。自分の存在を知ってもらうことがどれほど大切かを石原良純さんをはじめたくさんの方に教えていただきました。まちづくりでも、ハード面の安全・安心の整備はもちろんのこと、コミュニケーションというソフト面の配慮も不可欠だと改めて感じました。